

プレスリリース
 報道関係各位

社長がバナナに！？

VR 会議 & テレワークで危機的状況下でも業務継続を可能に！
 新型コロナウイルス蔓延時や異常気象でも社員が安全に働ける環境整備へ



VR 会議中の様子（各自宅で撮影）

令和創業の IT ベンチャー HappyLifeCreators 株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：牧長 心、以下「当社」）は、新型コロナウイルス流行への対策として VR 技術を活用したテレワークを実施いたしました。

■導入目的

新型コロナウイルスなどのパンデミック発生時や異常気象など、出社によって社員の安全が脅かされる事態にも業務継続を可能にすること（BCP）

■概要

実施日	2020年2月7日 ※VR会議は11時～、14時～の計2回（各回約20分）
対象人数	5名（エンジニア3名、営業事務1名、広報1名）
使用ツール	Oculus Quest、VRChat、Slack

■導入の背景

昨年末、社員の家族がインフルエンザに罹患した際に本人は症状がなく出勤したところ、勤務中に発症し他の社員に感染してしまうということがありました。

当社のように従業員数が少ない会社では職種ごとに担当者が1名というケースも多く、万が一社内で感染が広がった場合に業務継続が困難になってしまいます。そうした状況下で新型コロナウイルス流行の兆しを受け、緊急時の予行演習としてテレワークを実施しました。

■導入への懸念点

当社では会話から生まれるアイデアやイノベーションを大切にしているため、テレワークにより社員同士のコミュニケーションが不足するのではないかという懸念がありました。また、事務や広報など業務を数値化しづらい職種について仕事の進捗をどのように行うのかという課題もありました。

■導入した結果

今回は慣れない在宅勤務ということもあり作業効率について具体的な数値を出すことは難しかったのですが、テレワークという働き方に関しては基本的にポジティブな意見がほとんどでした。また、VR ゴーグルは長時間使用すると人によっては車酔いのような状態になることもあり、手短かに会議を終わらせるうえでも最適でした

■今後の展望

今回テレワークを試験導入して見えてきた作業効率の効果測定や個人のタスク管理の面を強化することが最重要課題だと捉えています。また今後、危機的状況下での業務継続に限らず、テレワークを通してワークライフバランスの実現や優秀な人材確保へと繋げたいと考えています。テレワーク導入を検討されている企業様向けに得意分野である VR 技術を活用した支援も積極的に行っていく所存です。

■関連 URL

- ・ Oculus Quest https://www.oculus.com/quest/?locale=ja_JP
- ・ VRchat <https://www.vrchat.com/>
- ・ Slack <https://slack.com/intl/ja-jp/>

■会社概要

商号：HappyLifeCreators 株式会社

代表者：代表取締役社長 牧長 心

所在地：〒541-0054 大阪府中央区南本町 2-4-10 丸忠第 2 ビル 3F

設立：2019 年 5 月 10 日

事業内容：業務システム、スマホアプリ開発

URL：<https://www.happylifecreators.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

HappyLifeCreators 株式会社

広報担当：林（はやし）

電話：06-4256-4974（平日 10 時～17 時）

携帯電話：090-4901-0411

メール：pr@happylifecreators.com

■参考資料

テレワーク終了後に社員にアンケートを実施しました。

Q.メリットに感じたことは？

- ・通勤がないので 1 日の疲労度が全然違う。
- ・顔が見えないので化粧や身だしなみなどの準備が楽になった。
- ・これまでずっと自宅作業は集中できないと思い込んでいたが、いざやってみると意外と集中できた。
- ・会議の時間がいつもより早く終わった。

Q.デメリットに感じたことは？

- ・誘惑が多いので油断すると集中が途切れてしまう。

Q.社員同士のコミュニケーションは取れていましたか？

- ・(VR 会議では) 全員がアバターの格好をしているのでむしろ普段より距離感が近く感じた。
- ・アバターの格好でも声は本人なので普段通り会話できた。
- ・Web 会議でよくあるタイムラグもほとんどなく快適だった。

Q.業務に集中できましたか？

- ・最初の 1 時間くらいは慣れなかったが徐々に集中できた。
- ・電話に出なくていいので作業効率が上がった。